

第10回 リスク推定部会 議事録（全文）

1. 開 会

2. 部会員出席状況報告

3. 配布資料確認

事務局 本日の部会を始めさせていただきたいと思います。村山部会長、議事進行につきまして、どうぞよろしく願いいたします。

部会長 よろしく願いいたします。それでは次第に従って進めさせていただきます。

4. 議題

議題1 経過報告書の構成について

事務局 まず「はじめに」で全体の説明後、1章～6章+巻末資料という構成です。前回資料から章番号の表記を、ローマ数字から算用数字に変更しています。報告内容は、この経過報告でお知らせする内容のみとするため、章の内容についても見直しを行いました。そのうえで、今後検討予定の項目を6章「今後の作業課題」としてまとめています。あと、3章の中にございました、大田黒委員に作成いただいた資料について、「アスベスト含有量の推定」と「巻末資料」に該当するものがありましたので、「巻末資料」は「巻末資料3」として構成を修正しています。現時点では、ページ数が未記載ですが、資料が完成後にページ数を記載します。

名取委員 目次の巻末資料1～3の箇所にタイトルを入れた方がよくないですか。

事務局 はい、追記します。

名取委員 現時点の巻末資料1～3のタイトルを教えてください。

事務局 巻末資料1が「R2年度第1回ヒアリング議事録」、巻末資料2が「R2年度第2回ヒアリング議事録」です。巻末資料3は、まだタイトルはない状態です。

名取委員 大田黒委員、巻末資料3のタイトルに適切な案をだしていただけませんか。

大田黒委員 「実測地点図及び実測写真」が良いと思います。

名取委員 そのタイトルでよろしいですか。

事務局 はい、そのタイトルを記載します。

名取委員 図の引用表記等で修正が必要な箇所も複数ありそうで、全て修正後改めて確認をする場が必要だと思います。

- 事務局 はい、資料修正し調整します。
- 部会長 全体の構成について他に何かありますか。（無し）
では内容について少しご紹介いただけますか。
- 事務局 はい、事務局作成分の「はじめに」「第1章」の修正分について説明させていただきます。
- 「はじめに」部分を1章の前に出し、報告書の概要説明をしています。1章について、赤字表記分が前回分からの追記事項になっております。まず、「主な発じん作業期間開始」ということで、8月1日から、8月17日までの間の作業内容を記載しました。この作業内容に関しては、*注釈を入れておりますが、巻末資料でもつけております、第1回（令和2年9月23日）第2回（令和2年10月12日）のヒアリング議事録の内容や、今後の調査により細かい修正の可能性がある旨記載しています。
- 名取委員 私は、この赤字フォントのところについては賛成ですが、今後の作業を考えると、「ここについてはよろしいですか」という形式で委員にお諮りいただいて、村山先生の方でも確認していただいて、委員の同意を得たものは赤⇒黒フォントに都度変えて、この部会の中で校正が済むようにされた方がいいと思いますがいかがでしょうか。
- 事務局 はい、そのようにさせていただきます。今回「発じん作業期間」について、令和2年7月31日、1学期終業式から、次のページの8月17日の2学期始業式までの作業部分を追記いたしました。この部分に関して、ご異議等ございますでしょうか。（無し）ではこの部分に関して、黒フォントに変更し確定とさせていただきます。
- また、記者発表の日付について、8月26日が正しい日付でしたのであわせて修正させていただきます。
- 次に、令和3年1月15日から1月18日の間、亀元委員からもご提案いただいたASA監視のもと、工事影響範囲の石綿除去工事及び除去完了確認、ということで、この日付で追加の石綿除去作業を行った旨記載しました。こちらについて何かご意見ございますか。
- 亀元委員 いいと思います。
- 事務局 ではこちらも、黒フォントにして確定とします。
- 続きまして、令和3年6月5日、7月31日の2回の健康・心理相談会及び読影について、前回までは別で、文章で表記していましたが、こちらの経緯に表記しました。相談会については、*注釈で「応募がなかったため取止め」と記載しております。
- 名取委員 よろしいかと思えます。
- 事務局 続きまして、令和3年8月30日に工事完成したことと、令和3年9月3日に

給食が供用開始したことを追記しています。この2点追加について、よろしいでしょうか。(異議なし)

続いて1章-3に、10回のリスク推定部会の開催状況をまとめています。ご意見ございますでしょうか。

名取委員 よろしいかと思えます。

事務局 「はじめに」及び第1章につきまして、修正点はご了承いただけたということで、次の説明に移ります。

2章以降については、ご担当いただいた委員の方にご説明いただく形でよろしいですか。

部会長 はい。では2章については私から説明します。皆様に送付している分は、一部表示されていない箇所があるので、私の方で必要に応じて修正します。基本的にはあまり変わっていませんが、ヒアリング内容等も追加されているので、その点も反映した形で修正する予定です。

名取委員 第2章のタイトルに(仮題)という表記が残っているので削除いただけますか。

部会長 削除します。

事務局 この会議後の修正作業の期限は、最後にご相談させていただく形でよろしいですか。

部会長 はい。

事務局 2章について、他に委員の皆様からご質問等ございますか。(無し)

では続きまして3章に進みます。タイトルは「関係者及び現場調査の実施」とし、1項目目を「ヒアリングの実施 R2年度実施分」ということでしたので、そちらの概要をまとめました。令和2年に中皮腫・じん肺・アスベストセンター名取医師とASA 亀元事務局長により委員会発足前に行った2回のヒアリング内容をまとめています。

名取委員 2回のヒアリングの後に、令和3年度8月以降に実施した業者ヒアリングの確認を行い、必要な内容については校正を行った概要も追記してください。そうでないと令和2年9~10月に実施したヒアリングがなぜこの令和3年度になって表記しているか疑問が生じます。さらにばく露状況の把握が必要であるとか、写真の取り寄せが必要になったとか等の経緯もあわせてわかるように、事務局で案を追記いただき、その後私のほうで確認させていただきます。

事務局 はい、事務局の方で案を作成し、名取委員、亀元委員にご意見を伺いたいと思います。

続いて、目次作成時は、第3章に「2. 現場調査の実施」という項目を用意していましたが、現在それに該当する資料がないように思われますので、この項目に関して、削除して繰り上げた方が良いか、それともこの項目に該当する資料を

取りまとめた方が良いか、どうさせていただいたらよろしいですか。

名取委員 目次を画面表示しながら、もう一度ご説明をいただけますか。

事務局 はい、大田黒委員に作成いただいた「下地調整材の総量推定」が、目次の第3章「3. アスベスト含有量の推定」に該当すると考えております。(第3章の目次を表示しながら) 目次の第3章に関しては、「1. ヒアリングの実施 令和2年実施分」「2. 現場調査の実施」「3. アスベスト含有量の推定」「4. 工事現場の飛散作業の特定」となっています。「4.」に俯瞰図を挿入しています。「2. 現場調査の実施」について、必要な資料の追加か、項目自体を削除するかご相談させていただきます。

名取委員 わかりました。今後の校正にとって大事な点にもなると思いますが、目次と、こちらの章の項目がずれてしまうときがあります。今も、大田黒委員が作成された部分ですが、目次(「アスベスト含有量の推定」と資料(「下地調整材の総量推定」)の項目のタイトルがずれています。ここは、大田黒委員の意見をいただきたいのですが、目次と資料のタイトルどちらにあわせればよいですか。

大田黒委員 今回問題になっている下地調整材が周知の事実であれば、「アスベスト含有量の推定」で良いと思いますが、幅広く皆に見てもらおうという前提であれば下地調整材という言葉を使った方が良くとも思いますが、両者いずれでもなく「下地調整材におけるアスベスト含有量の総量推定」が良いと思います。

部会長 私もそれがいいと思います。

大田黒委員 下地調整材そのものではなくて、その中のアスベストのところなので、当初この資料を作った時はこの状態で仮置だったと思うんですけど、今回一番伝えたいことは下地調整材の中にどれぐらいアスベストが占めていたかの推定なので、「下地調整材におけるアスベスト含有量の総量推定」という表現が良いと思います。

名取委員 大田黒委員が言われた意見に賛成で、「下地調整材」「アスベスト含有量」「総量」「推定」の四単語があった方がよいように思います。なので、賛成です。村山部会長も賛成なので、目次も資料タイトルのいずれも修正いただくということでもよろしいですか。

事務局 はい、「下地調整材におけるアスベスト含有量の総量推定」という表現で、目次及び資料タイトルを修正したいと思います。

名取委員 先ほどご指摘があった3章「2. 現場調査の実施」ですが、私のイメージは、令和2年に私と亀元委員が最初の調査を行いました。その後、令和3年5月の段階で亀元委員やその他の委員が、もう一度現場について調査されたという記載になると思います。ヒアリングに加えて、実際にいろんな委員が現場調査をしたまとめを書いておく、例えば、何年何月に〇〇委員、△△委員が外部の調査を行った。何年何月に、□□委員と◎◎委員がアスベストの下地調整材における

アスベスト含有量の推定のためにこういう調査を行った。令和3年5月擬似漏えい実験のために、〇〇委員と△△委員がここで調査を行った等が記載されている内容になると思います。事務局の方、ご理解いただけますか。

事務局 はい。

名取委員 いままで事務局も全部立ち会っておられますか。

事務局 はい。

名取委員 つまり、令和2年の名取・亀元委員の調査や、令和3年5月の擬似漏洩実験、大田黒・冨田委員のヒアリング等を時系列に並べて書くことはできますか。

事務局 事務局で取りまとめます。

確認させていただきたいのですが、第1回委員会を行った際の現場見学会も入れておいた方がいいでしょうか。

名取委員 はい。

事務局 3章については、「2. 現場調査の実施」を事務局の方で作成いたします。「3. 下地調整材におけるアスベスト含有量の総量推定」は、これまでご提出いただいている内容で、確定させるべき部分としましては、この黄色のハイライトをいれていただいている「本資料の取り扱い」という部分に関しては、この記載で確定してよろしいでしょうか。

名取委員 その部分はいいと思いますが、委員会の委員としてのヒアリングだと思うので、ヒアリングの実施者は、肩書きを会社名ではなく「委員」としていただけますか。(第3章2ページ目)

事務局 はい。

同ページ欄外の注釈表記「本資料における「建具」は、廊下と配膳室を接続するアルミサッシを指す。」という表記もよろしいですか。

名取委員 よろしいと思います。

事務局 3章7ページ目までが、大田黒委員に作成いただいた資料の部分ですが、ここまですべてのご指摘等ございますでしょうか。

名取委員 巻末資料3と関係する記載は、この段階では不要でしょうか。この部分に、巻末資料との関連の記載が1～2行あった方がよろしいでしょうか。

大田黒委員 あったほうがいいと思います。3章5ページ目に「巻末資料1に実測地点及び現地撮影写真を示す」とあるので、この表記を「巻末資料3」とし、先ほど挙げたタイトルにすればいいと思います。

名取委員 事務局の方、今の内容でよろしいですか。

事務局 はい、そのように対応いたします。

3章「4. 工事現場における飛散作業の特定」ということで、事務局作成の俯瞰図を挿入しています。図だけではわかりにくい箇所は、その日もしくはそれ以前に撮影された写真で補足を行っています。7月31日から8月17日まで、作

業日・作業内容という形でまとめ、その代表的な写真を補足する形で掲載しております。この箇所では何かご指摘等ございますか。(無し)ではこの部分は、修正なしで進めさせていただきます。

続きまして、「リスク推定を進めるためのフロー検討」ということで、村山部会長ご説明いただけますか。

部会長 経過報告にまとめるにあたり、最初に追記する内容があるのでその分を追加します。それから、章2ページにある、設定内容も、今後追加していきます。追加事項はありますが、流れとしてはこのような形です。

名取委員 この章の4ページ目ですが、この作業工程の部分が、その後の業者ヒアリングや写真提供を受けて変わっていますので、すいませんが3章4の事務局が作成された図・写真に合わせて修正をお願いします。あとタイトルに(仮題)表記が残っていますので、そちらの削除をお願いします。

部会長 承知しました。

事務局 この章の内容につきまして、今事務局の方でいただいていた資料の項目のタイトルと、目次のタイトルも相違がありますが、こちらはどうぞさせていただきますでしょうか。

部会長 本文の内容を今一度整理した後、目次に反映したいと思います。

事務局 わかりました。

名取委員 「作業工程(亀元委員資料による)」も委員会ヒアリングに基づく等に修正をお願いします。

事務局 はい。次の章「今後の予定」ですが、目次では「今後の作業課題」となっていますので、そちらに合わせたいと思いますが、その内容、当初目次の中で整理していた「今後記載予定で検討中の内容とその課題」の内容を列記する形でこの章に移動させております。内容について、「リスク推定部会で今後記載予定の内容」「委員会で今後検討する予定の内容」ということで整理しました。この内容について、ご意見等ございますでしょうか。

名取委員 内容についてどう振り分けるかというか、受け持つかについて、村山部会長にも伺っておきたいのですが、リスク推定部会はリスクの推定は行うけど、法的問題の整理と健康対策や再発防止策は検討しないように見えますが、「再発防止策」を)少し担う形でも良いでしょうか。「再発防止策」はリスク推定部会の先生の方がおそらく詳しいと思うので、最終的に決定するのは委員会かもしれませんが。健康対策については、健康・心理相談部会がありますので、そちらの部会でご検討できると思います。また「法的問題の整理」については、リスク部会員に法律関係者がいないので、リスク推定部会では馴染まないのかもしれないので、委員会でヒアリングを行って対応してほしい、という内容と受け止めました。ただ「再発防止策」は、技術的な部分があるので、リスク推定部会でも検

討していただく項目にした方が良いと思いますがいかがでしょうか。

部会長 部会の中でそういう運営ができればということだと思います。他の委員の皆様、この点についてご意見はございますか。

亀元委員 これは、リスク推定の検討が終わった後ということでしょうか。「法的問題の整理」については早めに行えるかと思いますが。

部会長 「法的問題の整理」の検討は、リスク部会としてはあまり前向きに考えてはいないのですが。本筋のリスク推定がまだ、目処が立ってない状況で他内容まで、課題を広げることは、私は慎重になっている状況です。

名取委員 私も法的問題の方は、法律関係者のヒアリング等で整理していく方が良いと思っていますので、その全体の中身が固まったところで、委員会に法的関係者をお呼びして、ご意見も聞きながらまとめていくイメージを持っています。「健康対策等について」は、リスク推定部会でリスク推定が確定した結果をうけて、健康・心理相談部会で議論し、健康対策についての対応を書面で委員会にお諮りすることになると思います。「再発防止策」については、非常に技術的な部分があるので、リスク推定部会でリスク推定が大体決まってきた段階で、リスク推定部会として再発防止策の検討ということを対応項目として挙げておきたいです。（「再発防止策」を）全て委員会の方で検討することは少し負担が多いと思いますが、いかがでしょうか。

部会長 リスク推定部会の委員の方々でご異論がなければ、「再発防止策」についても最後に挙げさせていただきたいと思います。最後ということで、他の課題が概ね整理できた上でという位置づけですが、そういう方向でよろしいですか。（異議なし）項目立てについては私の方で整理して、事務局に送付し、委員の方々にもご覧いただいて最終稿としたいと思います。

事務局 はい。では経過報告書の本文に関しては、以上になります。

名取委員 文章についてはこちらの中身が良いと思いますが、実際の説明会の担当は、主に記載された委員が分担して、説明された方が良いと思います。3月11日の委員会の前にもう1回、委員会前打ち合わせが入るかもしれませんが、誰がどの部分を担当していくのか、場合によってパワーポイントを作成するか等検討した方が良いと思います。

事務局 概ね、項目毎に作成者をご説明いただくことになると思われます。目次に沿って確認させていただけたらと思います。では、目次の「はじめに」「第1章」に関しては、事務局の方で説明させていただくということでもよろしいでしょうか。（異議なし）続いて、2章「リスク推定を進めるためのフローの検討」については、村山部会長の方で説明いただくということでもよろしいですか。（異議なし）3章「関係者及び現場調査の実施」の「1. ヒアリングの実施 R2年実施分」と「2. 現場調査の実施」は、事務局の方で説明させていただいて、「3. 下

地調整材におけるアスベスト含有量の総量推定」は、大田黒委員、富田委員にご説明いただき、「4. 工事現場における飛散作業への特定」の俯瞰図の説明は事務局が行う、という整理でよろしいでしょうか。

部会長 「1. ヒアリングの実施 R2年実施分」と「2. 現場調査の実施」は事務局で良いですか。名取委員、亀元委員はご説明いただけそうですか。

亀元委員 はじめのところは名取先生が良いかもしれないですね。

名取委員 「はじめに」は私が説明します。1章は事務局の方でやっていただきます。あと、2章は村山先生でしょうし、3章3は大田黒委員と富田委員でしていただいて、3章1、2、4は事務局でしていただき、何かあれば亀元委員と私で補足する形でいいですか。(異議なし)

事務局 「周辺地域の濃度推定に向けた作業経過」に関しましては村山部会長にお願いする形でよろしいですか。(異議なし)「今後の作業課題」については、どのようにさせていただいたらよろしいですか。

部会長 私の方で説明させていただいて、何か補足があればお願いできればと思います。

名取委員 それがいいと思います。

事務局 確認ですが、

「はじめに」	・・・	名取委員
第1章	・・・	事務局
第2章	・・・	村山部会長
第3章	・・・	1、2、4⇒事務局
	・・・	3⇒大田黒委員・富田委員
第4章	・・・	村山部会長
第5章	・・・	村山部会長

でよろしいですか。

名取委員 それでいいと思います。

事務局 巻末資料については、巻末にこのような資料があります、という説明でよろしいでしょうか。

名取委員 それでいいと思います。もし質問が出た場合は、巻末資料1、2については私のほうでも対応しますし、巻末資料3については大田黒委員と富田委員にお答えをお願いします。

事務局 それでは本文については、以上となります。巻末資料につきましては、概要程度のご説明になりますが、この1回目の令和2年9月23日のヒアリング議事録には巻末資料1を、2回目の令和2年10月12日分は巻末資料2という記載をしました。ページ番号は今後追記していきます。巻末資料3は大田黒委員に作成いただいた資料で、巻末に該当する部分をまとめています。こちらもタイトル表

記しておきます。以上、巻末資料でご意見ございますでしょうか。(無し) これで巻末資料の説明も終わりたいと思います。

5. その他

名取委員 3月11日(金)の保護者等、傍聴人の参加型式を教えてください。事前申込方式か、それとも申込無しの当日参加でしょうか。

事務局 事前申込を受ける予定はございません。

名取委員 保護者の方も近隣にお住まいの町内の方もいらっしゃる状況で委員会が開催されるということでしょうか。

事務局 今いただいている質問は、委員さんとして出席していただく地元の町内会長やPTAの会長とは別の、一般の傍聴人の方で、保護者の方や近隣にお住まいの町内の方もいらっしゃる予定かということでしょうか。

名取委員 まず委員の中にも当然いらっしゃいますし、その委員の方にも日程のご都合を聞かれているのですよね。

事務局 はい、その委員の方々の日程のご都合も事前にお聞きして、開催日を確定させていただいています。

名取委員 以前、その委員をお決めさせていただく際に、委員になりたいというご希望の方が、多数いらっしゃったという経緯があったと思いますので、委員の方以外の、保護者の方や近隣にお住まいの町内の方も含めて、希望される方は参加可能と考えてよろしいですね。

事務局 傍聴席を用意しておりますので、ご希望の方がいらっしゃればご参加いただける予定です。ただ新型コロナウイルス感染症の拡大状況の関係もございまして、上限5名の人数制限を設けさせていただく予定です。

名取委員 わかりました。私も村山委員も会場に参加するという予定で日程をお伝えしましたが、現状の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考えると、私はZOOM参加にさせていただくしかないかと思っているのですが、それはよろしいでしょうか。

事務局 事務局としましては委員の方のご希望に沿う形で、対応させていただくように考えています。

名取委員 村山先生は会場参加ですか、それともZOOMですか。

部会長 まだ、決めていませんか。どちらでも対応できるようにはしています。

事務局 3月11日(金)の委員会において委員の皆様へ、対面もしくはZOOMのいずれでのご参加かは確認しておりませんので、おって意思確認のうえ名取委員長に報告させていただきます。

名取委員 ありがとうございます。今、兵庫県は(コロナの関係で)県をまたがない方が

いいという現状でしょうか。

事務局 兵庫県は3月6日（日）までまん延防止等重点措置中です。

（今後のリスク推定部会開催日程を確認して閉会）

第11回：令和4年4月6日（水）14:00～